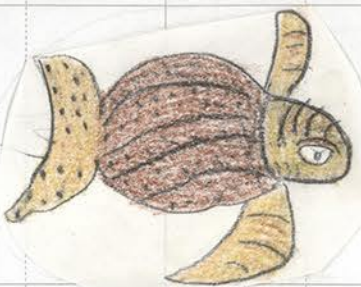


海と生き物のつながり

四日市にアカウミガメがやってきた

昔公害があった四日市は今はアカウミガメが産卵にやってくるほど環境がよくなりました。貴重なウミガメの産卵場所です。アカウミガメが産卵した後に台風が来ました。流木や漂着ゴミが海岸に押し寄せていました。

砂浜の環境はアカウミガメに大きく影響します。子ガメが生まれる時に無事に海へ帰れるように海岸のゴミや流木をみんなでき取り除きました。夜にふ化する子ガメはコンビニの光の方へ行ってしまうので、砂浜を仕切り海へと続く道ウミガメロードを作りました。



押し寄せた流木
アクション宣言



ウミガメロード



美しくなった海岸

感想 産卵にやってくるほど環境が良くなった四日市に変化したのは、こうした地域のみなさんたちがゴミ拾い活動を地道にやってくれていくことがとても大切だと感じました。たくさんの仲間が集まって、海へ帰っている子ガメを見守るわが広がることを願います。

自分はゴミをすてないからいいのではなく、重カ物のすみのために、ゴミをひらいていきたいです。

ゴミがたまるとうみの重カ物がすみにくくなる。そこから、ゴミはちゃんと川に流れていく。ゴミが海岸にたまる。うらやましいです。

伊勢湾浄化大作戦!

海の日に感謝をして、EMという微生物を活用した伊勢湾をきれいにする活動に毎年参加しています。

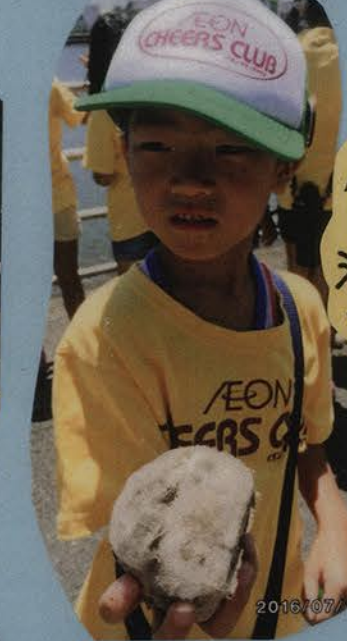
EMとは、目に見えない小さな微生物です。微生物の力が海のヘドロを食べて分解します。生態系のバランスと元の自然を取り戻す働きをします。海の浄化と生態系の再生を取り戻すために微生物の力EM団体の力をかりました。時間をかけて海はきれいになってきます。

海で川で代もつなぐ伊勢湾浄化作戦

2016年7月18日は「海の日」快晴の空の下伊勢湾をきれいにするためにチアスクラブの子も参加。四日市ドーム横の海へEM有機団子、EM活性液を投入しました。EMの力を借りて魚が泳ぐ川や海に変わり、四日市に美しい海が戻ってくる願いをこめて活動しました。



ボール投げの練習にEM団子を投げました!



人も地球も元気にしてあげるには、海へ入らせて海の汚れを合かいてあげよう

EMとは、有用な微生物群のことで人間にとってもいい働きをする微生物たちの集まり。乳酸菌や酵母菌、米ぬか菌の集まりです。



川や海がきれいにならないのは、子どもたちの口から自然に出ている。洗剤や米のとぎ汁、お風呂の排水が川や海を汚している。知らず知らずと魚を汚している。これを川や海へ流して環境を良くする活動をやりたいです。



伊勢湾に豊かな海を取り戻す

鳥羽市答志島のゴミ拾いは、5年目となりました。海岸にウミガメが打ち上げられていました。ウミガメはビニールなどをクラゲと間違えて食べてしまったのでしょうか?海には生活から出たゴミが流れついていました。答志島の人たちは、リヤカキを作るあみをゴミから守るためにゴミを出さない生活を心がけていますが、愛知、岐阜、三重県から流れついたゴミの処理に追われています。



とても悲しいことです。拾ってもまた押し寄せてくるゴミ。海の生き物は悲鳴をあげています。漂着ゴミをなくすためにこの現状を知って、伝えることが大切だと思います。

人間が自然とまじわる場合は、生き物のためにどんぴけいも捨てないでください。アカウミガメからのSOSアカウミガメの反り体は無言で私たちの心に訴えていました。



ゴミを捨てるときは、ゴミ袋をしっかりと縛って、ゴミ箱に入れてください。ゴミが海に流れていくのを防ぐために、ゴミを捨てるときは、ゴミ袋をしっかりと縛って、ゴミ箱に入れてください。

もうひとつ海ガメは生きていたかと思いましたが、死んだかかわからない。ゴミを捨てるときは、ゴミ袋をしっかりと縛って、ゴミ箱に入れてください。

アカウミガメは何も悪くないのに、あたしたちのゴミのせいで死んでしまっている。動物が生きることのために、ゴミを減らしたいです。

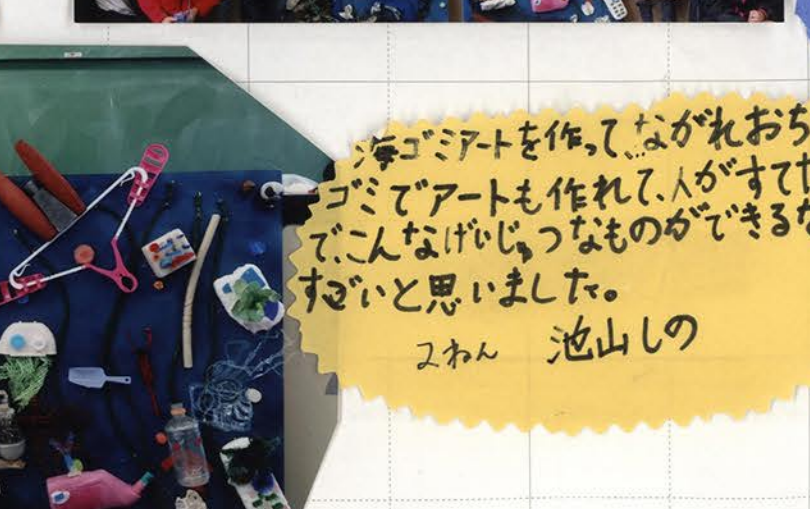
げんこになて。



海のサミット2016

伊勢湾に豊かな海を取り戻す海のサミットに参加しました。答志島では愛知、三重、岐阜県、環境活動をしている皆さんや外国の皆さん、三重県庁や鳥羽市長さんたちと生物多様性と海洋ゴミ問題を話し合うサミットが開かれました。海のプラスチックごみは太陽の紫外線で分解されて細かいマイクロプラスチックと言われる有害なゴミになります。それを海の生き物が飲み込んでしまうと魚を食べる人間にも悪影響があることを学びました。皆さん、食物連鎖ですべてがつながっていますね。本当に怖いことです。環境意識が高まりました。サミットでチアスクラブは山川海と生き物のつながりを発表しました。また漂着ゴミで作った海の生き物をテーマとしたゴミアートを作り会場の皆様にご覧いただき感謝しています。

ゴミをひらいて思ったことは、40年たっても海はきれいにならない。ゴミを減らさないと、海はきれいにならない。ゴミをひらいて思ったことは、40年たっても海はきれいにならない。



人間がすてたゴミから海の生き物たちの命をうばうことをせいかいにはんしました。わたしたちは海のやくに立てたと思います。それぞれの活どうが森から川、海へのつながりをいっしょにおたがいにつなぐことの大切さをかんじたサミットでした。海はせいかいとつながります。

海ゴミアートを作った人がおたがうた。ゴミアートも作って、人がすてたゴミで、人間はきれいにするものができるなんて、すごいと思いました。ごらん、池山しの